NO.

067

言語 ことわざに見る文化

Windows into Culture

ことわざは文化をのぞく窓

英文の音声

レベル ★★☆ やや難 | 301語 | 熟語12個 | 目標3分 | 読んだ日 | かかった時間 分 秒

1 Every language has expressions that cannot be understood word by word. If an English speaker says that jazz is "❶**not my cup of tea**," she does not mean that jazz is a drink. She means that she does not like it. The phrase ❷**derives from** the central place of tea in British life: what you enjoy is your "cup of tea." Idioms like this are small windows into the cultures that created them.

2 Many expressions ❸**originate in** everyday experience. In a country famous for its rain, people advise each other to ❹**save money for a rainy day**. Someone who has ❺**bitten off more than he can chew** is like a person with too much food in his mouth. The dinner table appears again when a busy person says she ❻**has a lot on her plate**.

3 Colors and body parts carry cultural meanings, too. A very jealous person is "❼**green with envy**," and Shakespeare called jealousy "the green-eyed monster." Japanese speakers, however, would not connect green with jealousy. An annoying task or person is "❽**a pain in the neck**."

4 Sometimes two languages express the same idea with different images. A person who feels uncomfortable in an unfamiliar place is "❾**like a fish out of water**" in English; in Japanese, he might be compared to a kappa on dry land. Other ideas seem to ❿**be unique to** one culture. The Japanese saying "The nail that sticks out gets hammered down" warns people not to stand out, while an American proverb says "The squeaky wheel gets the grease."

5 ⓫**Speaking of** change, English speakers who decide to improve their behavior say they will "⓬**turn over a new leaf**," an image taken from turning to a fresh page in a book. Each idiom shows not only how people speak but also how they see the world.

語注 **idiom** 慣用句 **proverb** ことわざ **annoying** 厄介な・いらいらさせる **squeaky** きしむ **grease** 潤滑油・グリース

この英文の熟語 IDIOMS 12個｜番号は英文の中の番号と同じ。覚えたら □ に印

1 not one's cup of tea 好みではない □□□

one's cup of tea で「好きなもの」。否定文で使うことがほとんど。紅茶を大切にするイギリス文化から生まれた 例 *Horror movies are not my cup of tea.* ホラー映画は私の好みではない。

2 derive from ~ ～に由来する □□□

come from / originate in と同じ意味。be derived from（～から引き出される）の受動態も多い 例 *Many English words derive from Latin.* 多くの英単語はラテン語に由来する。

3 originate in ~ ～に起源がある □□□

場所・時代・物事が起源のときは in、人が起源なら with を使うことが多い。名詞 origin も頻出 例 *The custom originated in China.* その習慣は中国に起源がある。

4 save ~ for a rainy day （お金などを）万一に備えて蓄える □□□

a rainy day＝困ったとき。雨の多い国の知恵が生んだ表現 例 *My grandmother always told me to save money for a rainy day.* 祖母はいつも、万一に備えてお金を蓄えておきなさいと言っていた。

5 bite off more than one can chew 手に負えないことを引き受ける □□□

かめる以上にかじり取る→能力以上のことを引き受ける。Don't bite off more than you can chew.（無理はするな）が定番 例 *I bit off more than I could chew when I agreed to run three clubs.* 部活を三つ受け持つと引き受けたのは無理をしすぎた。

6 have a lot on one's plate やることがたくさんある □□□

皿の上にたくさん載っている→抱えている仕事が多い。have one's hands full と近い 例 *I can't help you this week; I have a lot on my plate.* 今週は手伝えない。やることがたくさんあるんだ。

7 green with envy ひどくうらやましがって □□□

英語では緑が嫉妬の色。シェークスピアの『オセロ』の the green-eyed monster（嫉妬）が有名 例 *She was green with envy when she saw my new bike.* 私の新しい自転車を見て、彼女はひどくうらやましがった。

8 a pain in the neck 厄介な人［物］ □□□

首の痛みのようにうっとうしい存在。人にも物事にも使う。nuisance と同じ意味 例 *Filling in all these forms is a pain in the neck.* これだけの書類を全部書くのは本当に面倒だ。

9 (like) a fish out of water 場違いで落ち着かない人 □□□

水から出た魚→自分の居場所ではない所にいて居心地が悪い。feel like a fish out of water の形が多い 例 *I felt like a fish out of water at the fancy party.* その豪華なパーティーで私は場違いな気がした。

10 be unique to ~ ～だけに見られる □□□

unique は「唯一の・独特の」。be peculiar to と同じ意味。to の後は人・場所・集団 例 *This plant is unique to the island.* この植物はその島にしか見られない。

11 speaking of ~ ～と言えば □□□

話題を変えたり広げたりするときに使う分詞構文の慣用表現。talking of とも言う 例 *Speaking of Kyoto, have you been to Kinkakuji?* 京都と言えば、金閣寺に行ったことある？

12 turn over a new leaf 心を入れ替える □□□

leaf は本の「1枚（ページ）」。新しいページをめくる→生活を改める 例 *After failing the exam, he decided to turn over a new leaf.* 試験に落ちた後、彼は心を入れ替えることにした。

内容一致問題 QUESTIONS

英文を読んで、それぞれの問いに対して最も適切なものを 1〜4 から 1 つ選びなさい。

問1 第1段落によると、not my cup of tea という表現は何に由来するか。

① ジャズが紅茶を飲みながら聴く音楽だったこと
② イギリスの生活の中で紅茶が中心的な地位にあること
③ 紅茶が嫌いなイギリス人が多かったこと
④ 紅茶とジャズが同じ時代に生まれたこと

問2 第3段落で、英語と日本語の違いの例として挙げられているものはどれか。

① 英語でも日本語でも、緑は嫉妬の色である。
② 日本語では首の痛みが厄介な人を表す。
③ 英語では緑を嫉妬と結び付けるが、日本語ではそうしない。
④ シェークスピアは日本語の表現を英語に訳した。

問3 「出る杭は打たれる」と「きしむ車輪は油をさしてもらえる」の対比が示していることとして、最も適切なものはどれか。

① Japanese and American proverbs always mean the same thing.
② Some ideas seem to be unique to a particular culture.
③ Both proverbs come from the same old book.
④ Both proverbs encourage people to stand out.

熟語チェック CHECK 意味に合う英語の熟語を書こう（答えは「熟語」のページ）

1 好みではない
2 〜に由来する
3 〜に起源がある
4 （お金などを）万一に備えて蓄える
5 手に負えないことを引き受ける
6 やることがたくさんある
7 ひどくうらやましがって
8 厄介な人［物］
9 場違いで落ち着かない人
10 〜だけに見られる
11 〜と言えば
12 心を入れ替える

背景知識 慣用句やことわざには、それが生まれた土地の気候、食べ物、価値観が映し出されている。紅茶の国イギリスの not my cup of tea、雨の多い国の save for a rainy day などがその例。また、色のイメージも言語によって異なり、英語では緑が嫉妬、日本語では「青い（未熟）」など独自の意味を持つ。日本の「出る杭は打たれる」と、自己主張を勧めるアメリカのことわざの対比は、集団と個人をめぐる文化の違いとしてよく取り上げられる。

全訳 TRANSLATION 色の太字は熟語の部分

1 どの言語にも、一語一語では理解できない表現がある。英語を話す人が、ジャズは「**私の好みではない**」と言っても、ジャズが飲み物だという意味ではない。あまり好きではないという意味だ。この言い回しは、イギリスの生活で紅茶が中心的な地位を占めていること**に由来する**。好きなものが、その人にとっての「一杯の紅茶」なのだ。このような慣用句は、それを生み出した文化をのぞく小さな窓である。

2 多くの表現は日々の経験**に起源がある**。雨で有名な国では、人々は互いに**万一に備えてお金を蓄えておく**よう助言する。**手に負えないことを引き受けてしまった**人は、口に食べ物を入れすぎた人のようなものだ。忙しい人が**やることがたくさんある**（皿の上にたくさん載っている）と言うときには、食卓が再び登場する。

3 色や体の部分にも文化的な意味がある。ひどくうらやましがっている人は「**嫉妬で緑色**」であり、シェークスピアは嫉妬を「緑の目をした怪物」と呼んだ。しかし日本語を話す人は、緑を嫉妬と結び付けないだろう。厄介な仕事や人は「**首の痛み**」と言われる。

4 二つの言語が、同じ考えを違うイメージで表すこともある。慣れない場所で居心地悪く感じている人は、英語では「**水から出た魚のよう**」と言われるが、日本語なら「陸に上がった河童」にたとえられるかもしれない。一つの文化**だけに見られる**ように思える考え方もある。日本の「出る杭は打たれる」ということわざは目立たないよう人々に警告するが、アメリカのことわざは「きしむ車輪は油をさしてもらえる」と言う。

5 変化**と言えば**、自分の行いを改めようと決めた英語の話し手は、「**新しいページをめくる**」と言う。本の新しいページを開くことからとったイメージだ。慣用句の一つ一つが、人々の話し方だけでなく、世界の見方をも示してくれるのである。

要旨 慣用句やことわざは、それを生み出した文化の生活や価値観を映す窓である。同じ考えを違うイメージで表したり、その文化だけに見られる考え方を示したりする。

解答・解説 ANSWERS

問1 2 **問2** 3 **問3** 2

問1 正解 2 根拠は第1段落の The phrase derives from the central place of tea in British life（この言い回しはイギリスの生活での紅茶の中心的地位に由来する）。よって 2 が正解。1 はジャズは例として出ただけで、由来とは関係ない。3 は紅茶が好まれていたからこそ「好きなもの＝一杯の紅茶」になったので逆。4 は本文にない。

問2 正解 3 根拠は第3段落の A very jealous person is "green with envy" と、Japanese speakers, however, would not connect green with jealousy.（しかし日本語の話し手は緑を嫉妬と結び付けない）。よって 3 が正解。1 はこれと逆。2 の「首の痛み」は英語の a pain in the neck の説明で、日本語の表現ではない。4 は本文にない。

問3 正解 2 根拠は第4段落の Other ideas seem to be unique to one culture.（一つの文化だけに見られるように思える考え方もある）に続いて二つのことわざが紹介されていること。日本のものは warns people not to stand out（目立つなと警告する）、アメリカのものは声を上げれば必要なものが得られるという考えで、文化による違いの例。よって 2 が正解。1 は内容が逆向きなので誤り。4 は日本のことわざが目立つなと言っているので誤り。3 は本文にない。